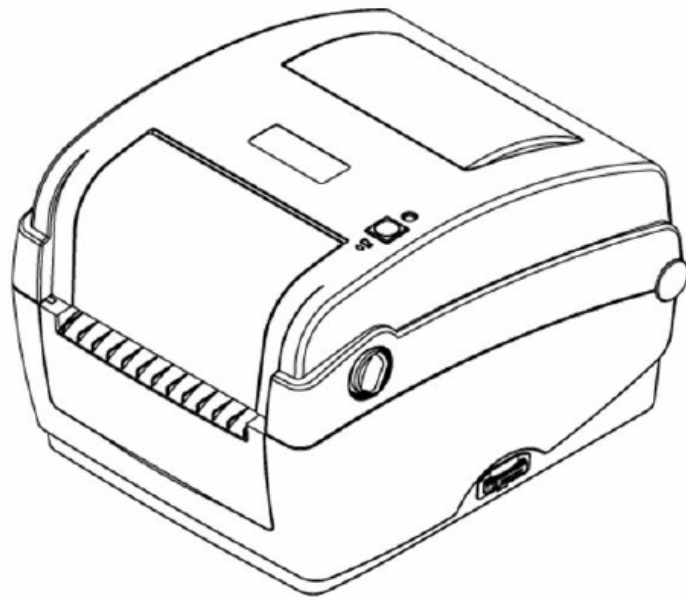




BBP11-34L

熱転写プリンタ

取扱説明書



改定 08/09

もくじ

第 1 章	はじめに	5
	製品のご紹介	5
	対応準拠一覧	5
第 2 章	操作の概要	6
	箱の開梱と検査	6
	本体各部の名称	7
第 3 章	ケーブルの接続と印刷の準備	10
	ケーブルの接続	10
	トップカバーの開閉	11
	リボンの装填	12
	メディアの装填	15
	診断ツール	19
	SD メモリカードのインストール	21
第 4 章	LED 表示とボタン機能	22
	LED 表示	22
	通常のボタン機能	22
	パワーオンユーティリティ	23
第 5 章	トラブルシューティング	28
	_Toc251445804	
第 6 章	メンテナンス	30

著作権

本取扱説明書は著作権法によるすべての権利を留保しています。いかなる手段であれ **Brady Worldwide, Inc.**の事前の許可なく本書のどの部分も複写・複製をすることを禁じます。

本書は最大の注意を払って作成されたものですが、**Brady** は誤りや不作為、または怠慢、事故、またはその他すべての原因の結果による供述にもとづくいかなる損失や損傷に対し誰に対してもいかなる一切の責任を負いません。さらに、**Brady** は、ここに記載された製品やシステムの使用、または応用により発生する責任、また本書の使用により発生した事故やその結果としての損傷に対する責任を負うものではありません。**Brady** は特定の目的用途に対する商品性または的確性に対する保証を放棄します。

Brady は本書に記載された如何なる製品やシステムに対し、信頼性や機能、またはデザイン向上のために今後の通知なしに変更を行う権利を留保しています。

一部であれすべてであれ、Brady Worldwide, Inc.の書面による許可なしに本書を複製することを厳重に禁止します。本件の詳細につきましては、2221 W. Camden Road, Milwaukee, WI 53209 所在の Brady Worldwide, Inc. Signmark®部までお問い合わせください。

免責条項

本取扱説明書は、可能な限り正確かつ完全なものとなるようあらゆる努力が注がれて作成されたものです。Brady Worldwide, Inc.は、本書の使用中に発生する過ちや不作為に対し責任を負いません。

本書は Brady Worldwide, Inc.が所有権を有し、また通知なしに時宜改定を行うことがあります。Brady Worldwide, Inc.は、改定にあたり顧客の了解を得ることから免責されています。

本書で参照されているすべてのブランド名や製品名はそれぞれの企業や組織の商標または登録商標です。

©2008 Brady Worldwide, Inc.無断複写・複製・転載を禁ず
www.bradycorp.com



知財部
PO Box 2131
Milwaukee, WI 53201, U.S.A.
電話: 1-800-537-8791、FAX: 1-800-292-2289

改定履歴

日付	内容
2008/8/6	第 3.4.3 項を改定(ピールオフモードでのメディアの装填)
2009/08	新規 Brady 基準を反映させるために改定

第1章 はじめに

製品のご紹介

このたびは BRADY BBP11-34L シリーズ・バーコードプリンタをお買い上げいただきありがとうございます。このプリンタは小型ながら高い信頼性と優れた性能を発揮します。

本プリンタは、2.0 または 3.0 ips のユーザによる選択によって熱転写と感熱紙方式印刷の両方が行えます。熱転写および感熱紙方式ともロール紙、ダイカット紙、折りたたみ式連続ラベルで印刷でき、またすべての共通バーコードフォーマットに対応しています。フォントとバーコードは 8 種の異なる英数ビットマップフォント、また内蔵のトウルータイプフォントで 4 方向に印刷できます。スループットの高いラベル印刷が可能な本プリンタをぜひお役立てください。

対応準拠一覧

CE Class B:

EN55022: 1998+A1: 2000+A2: 2003

EN55024: 1998+A1: 2001+A2: 2003 IEC 61000-4 Series

EN61000-3-2:2006 & EN61000-3-3: 1995+A1: 2001

FCC Part 15, Class B

UL, CUL

C-Tick:

CFR 47, Part 15/CISPR 22 3rd Edition: 1997, Class B

ANSI C63.4: 2003

Canadian ICES-003

TÜV-GS: EN60950: 2000

注意: 継続して印刷しているとプリンタモーターの過熱の原因になります。プリンタは冷却のため約 10~15 分ごとに自動的に印刷を停止します。プリンタが一時停止した場合は、プリンタバッファに転送されたデータを消失する可能性がありますので、電源を切らないでください。

注意: ドット数あたりの最大印刷比は本プリンタでは 15%です。黒ベタの線を印刷する場合、最大幅の黒線では 40 ドットが限界で、これは 300 dpi の解像度のプリンタの 3.3 mm 幅に該当します。

第2章 操作の概要

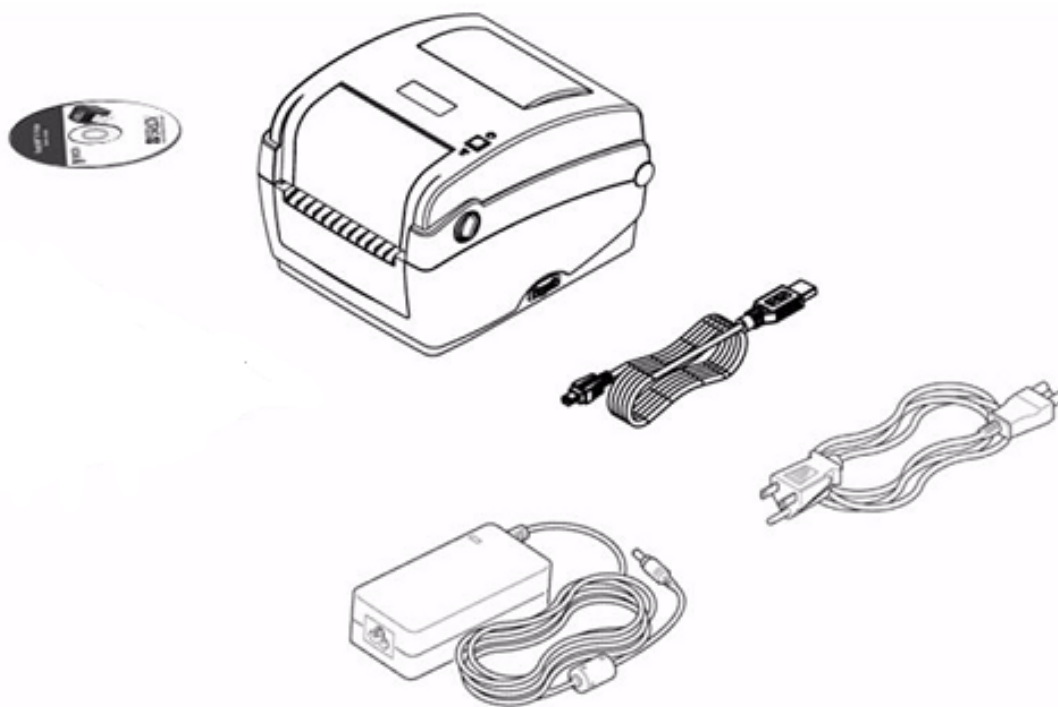
箱の開梱と検査

本プリンタは、輸送中の損傷に耐えられるよう特別に考慮された梱包になっています。本バーコードプリンタを受領したらすぐに梱包状態とプリンタを検査してください。プリンタを返送せねばならない場合に備えて箱と梱包材料は保管しておいてください。

内容物の確認

箱の中には下記の物が含まれています。

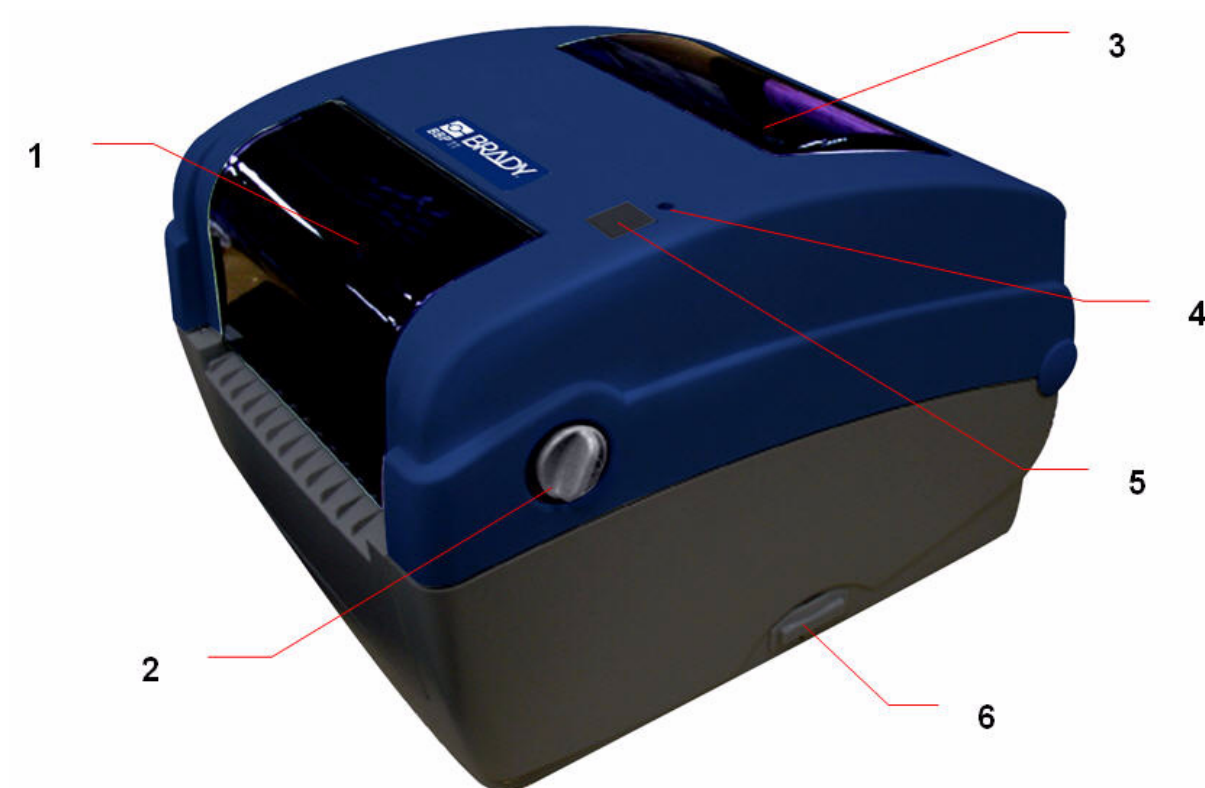
- プリンタ本体 x 1
- ドライバが含まれた製品説明用 CD x 1
- 電源コード x 1
- 自動スイッチ付き電源ボックス x 1
- USB インターフェースケーブル x 1



上記のうち不足のものがありましたら、カスタマーサポートへご連絡ください。

本体各部の名称

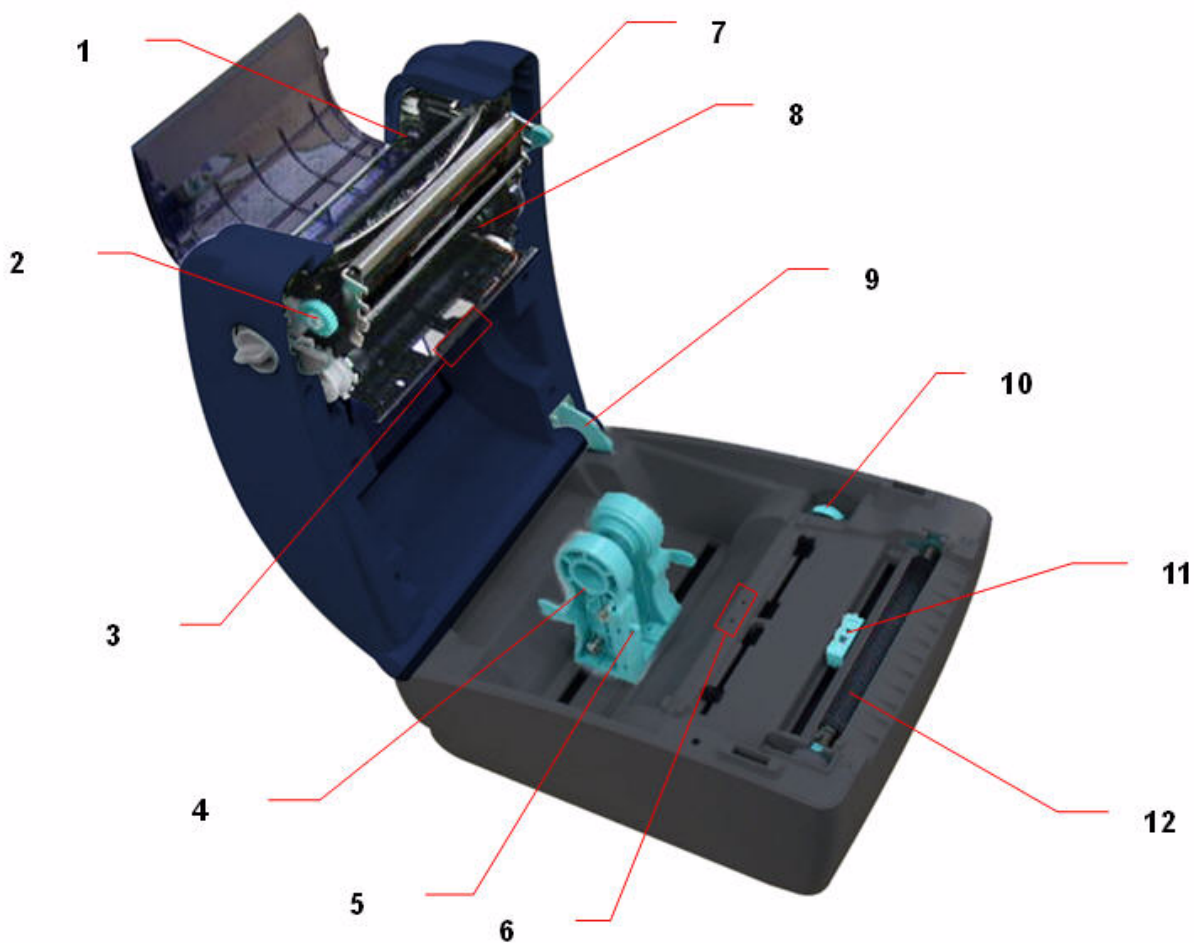
前面



- 1 リボンアクセスカバー
- 2 トップカバーオープンレバー
- 3 メディアビューウィンドー
- 4 LED 表示ランプ
- 5 フィードボタン
- 6 SD カードソケット

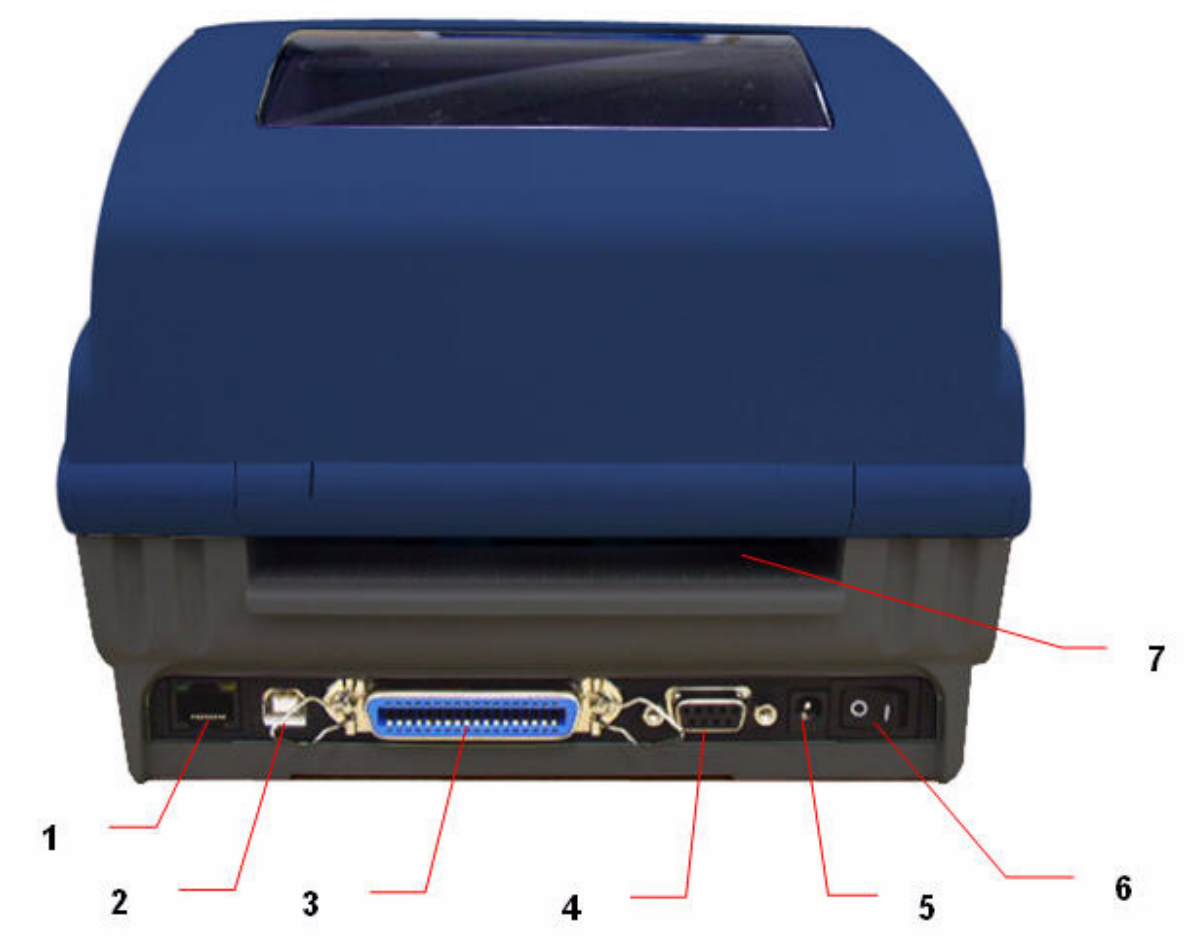
* 推奨 SD カード仕様	
SD V 1.0, V 1.1	SD V 2.0 (SDHC)
✓ 128MB ✓ 256MB ✓ 512MB ✓ 1GB	✓ 4GB class 6
- DOS FAT ファイルシステムがサポートされていること。 - SD カードに保存されているフォルダは 8.3 形式のファイル名であること。 - 認証済み SD カードメーカー: SanDisk、Transcend	

内部



- 1 リボン巻き取りハブ
- 2 リボン巻き取りギヤ
- 3 ギャップセンサ(受光部)
- 4 メディアホルダ
- 5 メディアホルダロックスイッチ
- 6 ギャップセンサ(投光部)
- 7 プリントヘッド
- 8 リボン供給ハブ
- 9 トップカバーサポート
- 10 メディアガイド調整ノブ
- 11 ブラックマークセンサ
- 12 プラテンローラー

背面

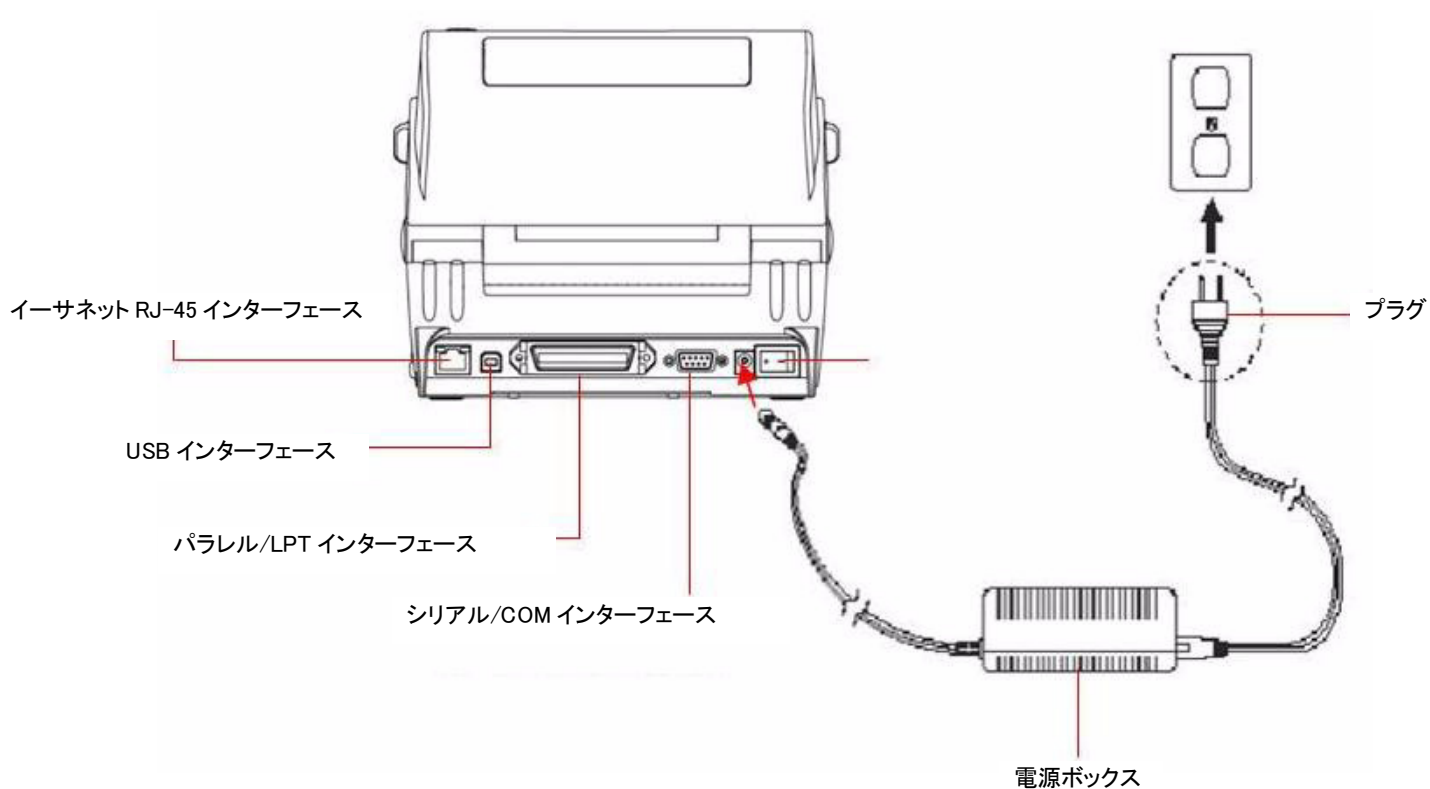


- 1 イーサネットインターフェース
- 2 USB インターフェース
- 3 パラレル/LPT インターフェース
- 4 シリアル/COM インターフェース
- 5 電源コード差込口
- 6 電源スイッチ
- 7 連続用紙挿入口

第3章 プリンタの準備

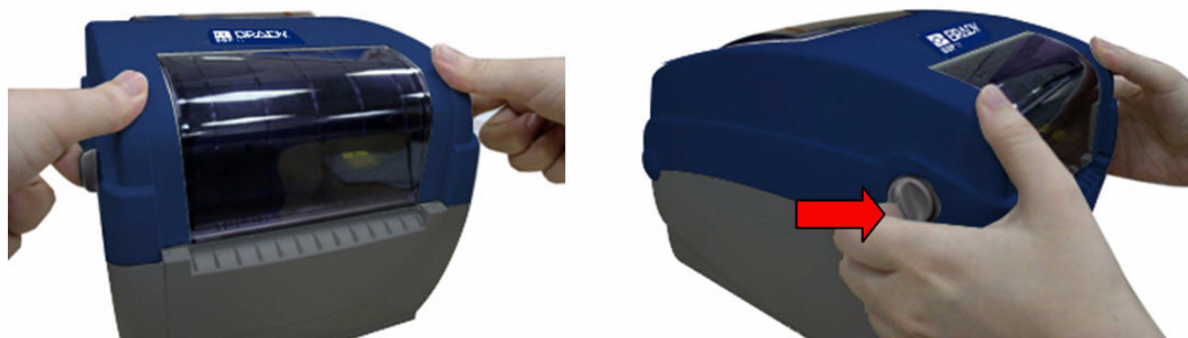
プリンタの準備

- 1 プリンタを表面が平らな安定した場所に置いてください。
- 2 電源スイッチが切れていることを確認してください。
- 3 備え付けの USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータと接続してください。
- 4 電源コードをプリンタ背面の AC 電源差込口に接続し、電源コードを正しくアース接地された電源コンセントに差し込んでください。

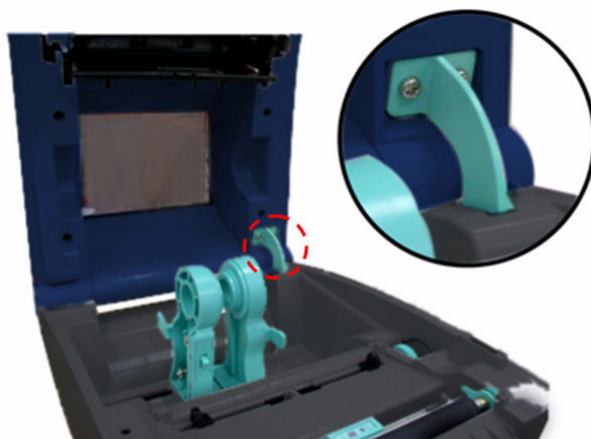


トップカバーの開閉

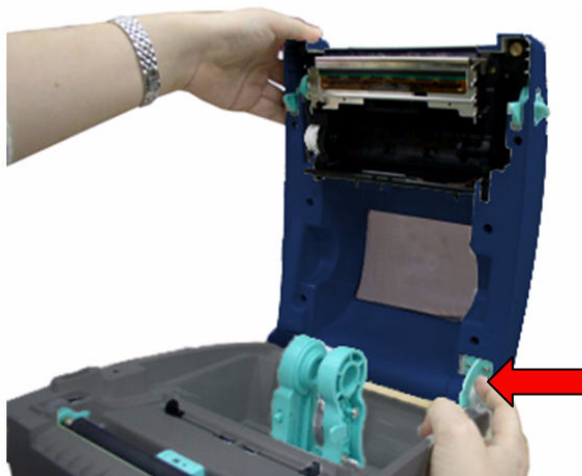
- 1 トップカバーの両側にあるグレーのタブをプリンタを正面から見て手前に向かって引き、トップカバーを持ち上げて開いた角度が最大となるようにしてください。



- 2 プリンタの背面側についているトップカバーサポートが、下側のインナーカバーと噛み合い、プリンタトップカバーが開放状態で支えられます。

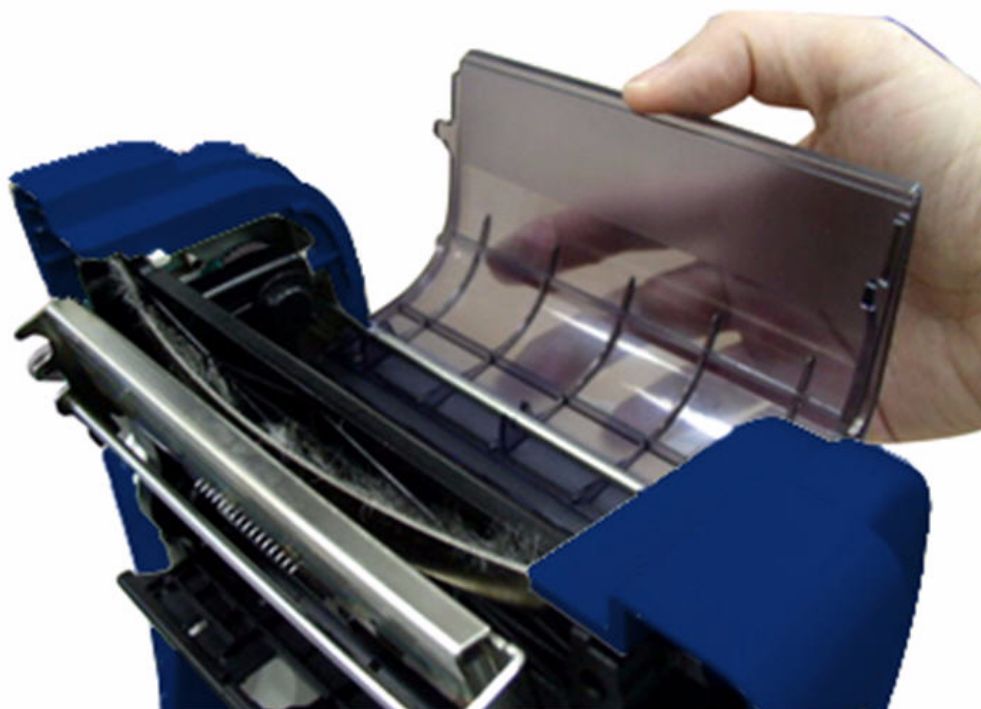


- 3 トップカバーを手で支えたままトップカバーサポートを押し、下側のインナーカバーとの噛み合わせ部分から外してください。静かにトップカバーを閉じてください。



リボンの装填

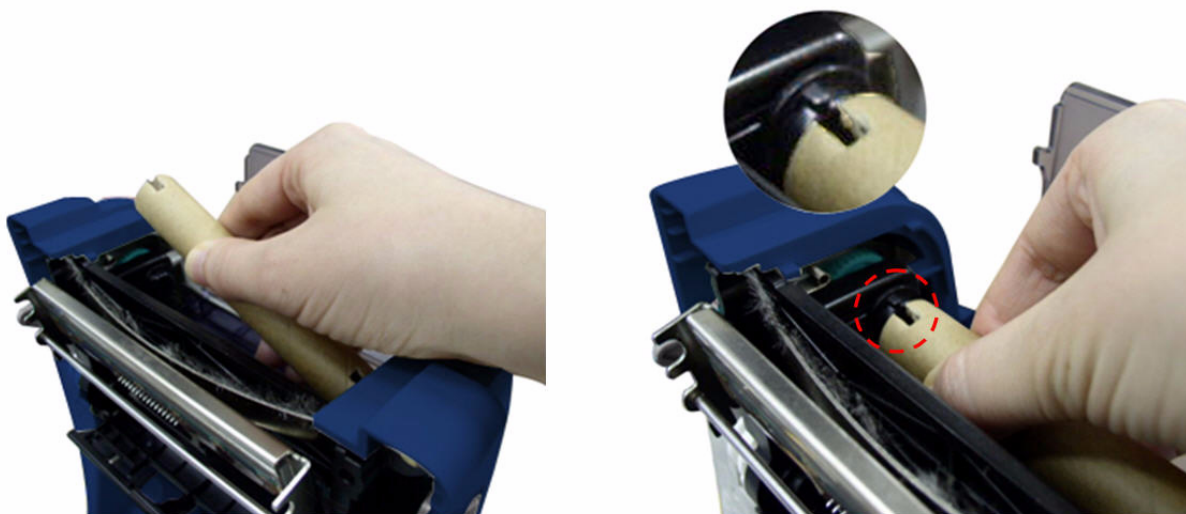
- 1 プリンタの両側にあるグリーンの開放レバーを引き、開いた角度が最大となるようにトップカバーを全開してください。
- 2 リボンアクセスカバーを開けてください。



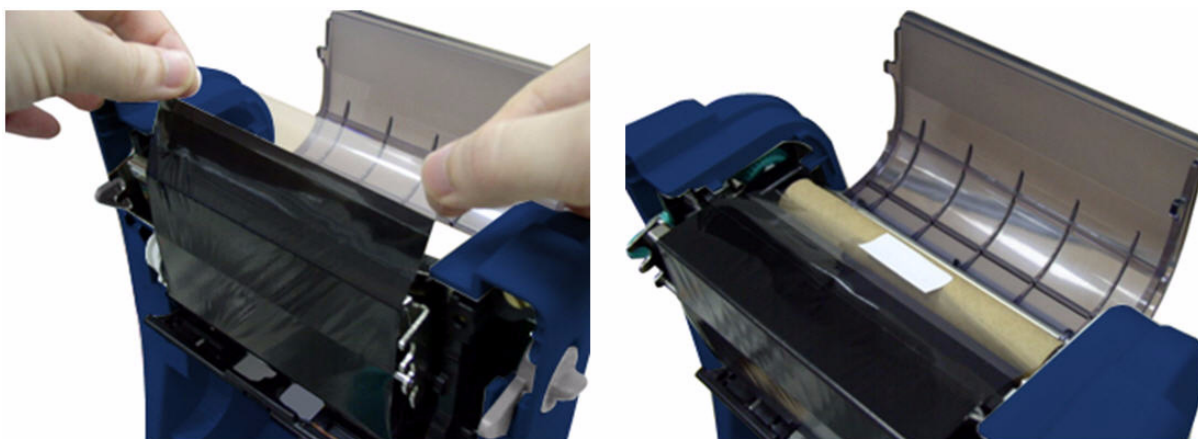
注意： 通常の印刷モードでは、トップカバーが開いた状態でリボンアクセスカバーを開くことができます。リボンアクセスカバーは、トップカバーの開閉に関係なく閉じることができます。

- 3 リボンの右側を供給ハブにしっかりと挿入してください。左側のノッチを合わせて回転止めに装着してください。

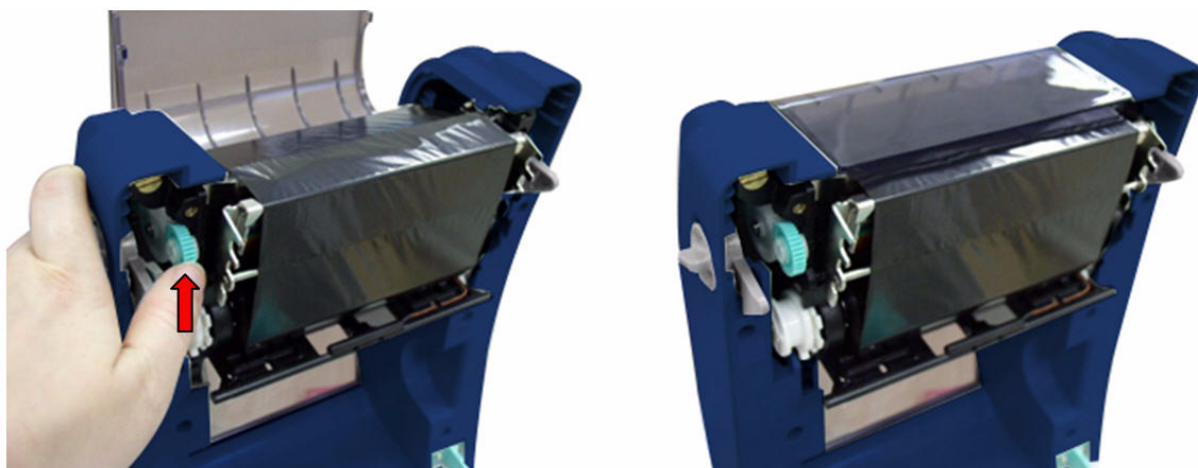
- 4 紙芯の右側を巻き取りハブに装填してください。左側のノッチを合わせて回転止めに装着してください。



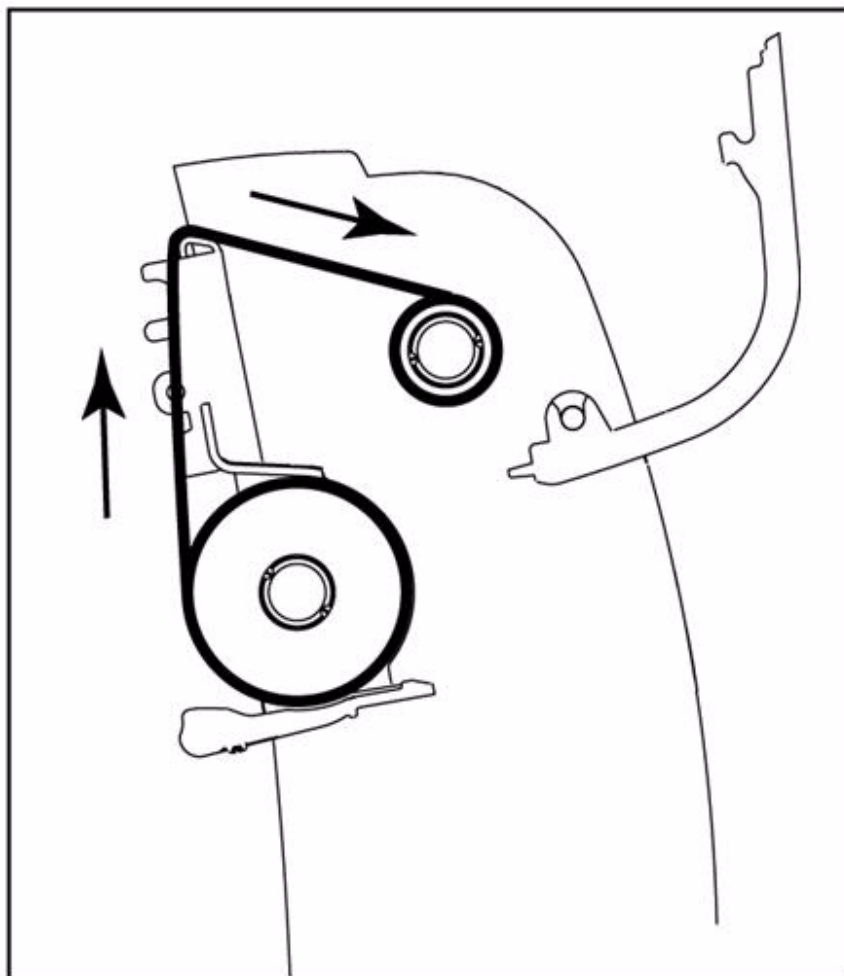
- 5 リボンリーダーをリボン巻き戻し用の紙芯に貼り付けてください。



- 6 プラスチックのリボンリーダーがしっかりと巻き取られ、リボンの黒い部分がプリントヘッドを覆うまでリボン巻き取りギアを回転してください。リボンアクセスカバーとトップカバーを閉じてください。



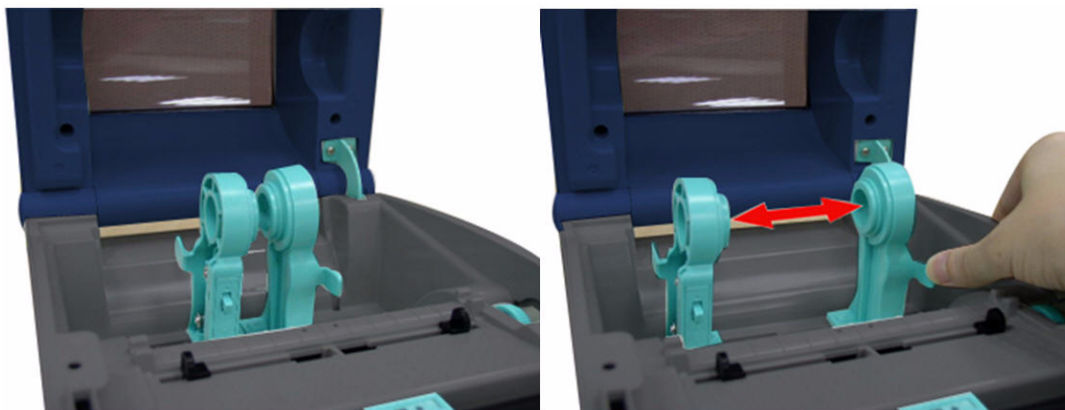
リボンの装填経路



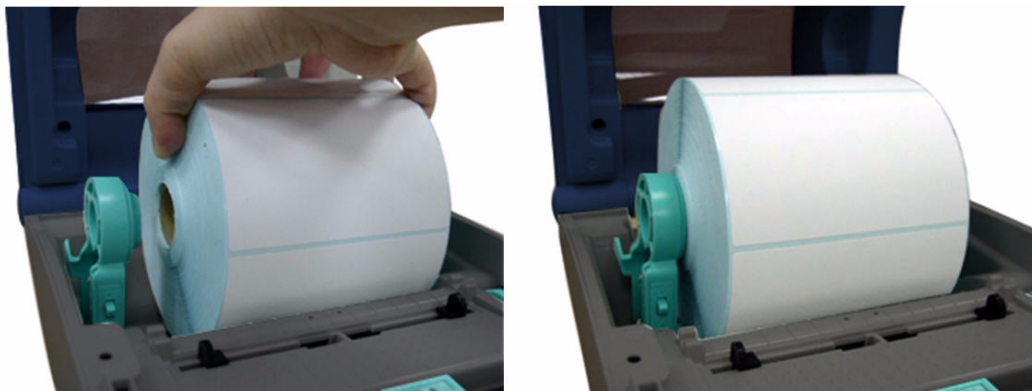
メディアの装填

メディアの装填

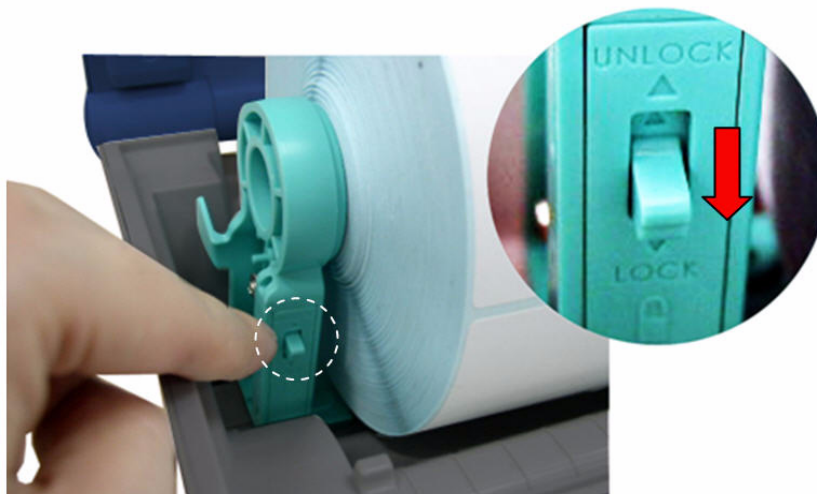
- 1 トップカバーの両側にあるグレーのタブを、プリンタを正面から見て手前に向かって引き、トップカバーを持ち上げて開いた角度が最大となるようにしてください。
- 2 2つのメディアホルダーを引き離しその状態にしておいてください。



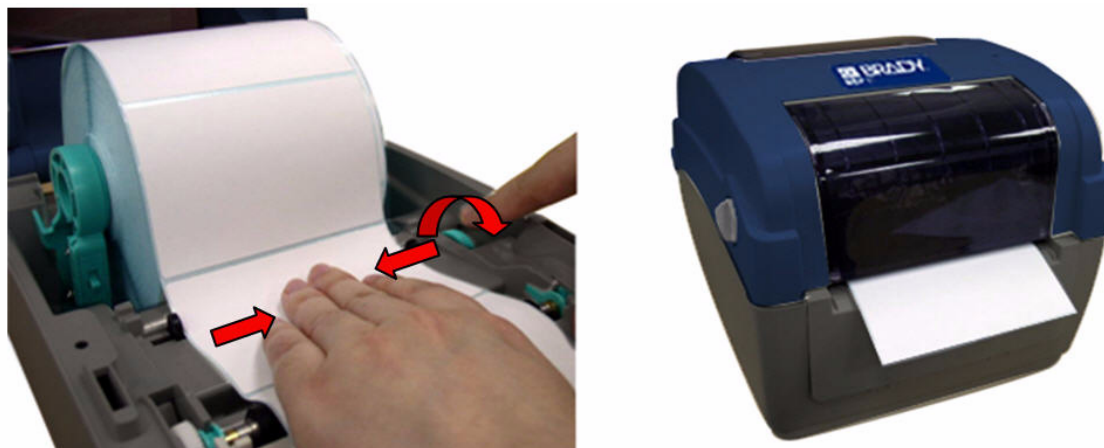
- 3 ホルダーとホルダーとの間にロールを挿入し、コアがはまるようにしてホルダーを閉じてください。



- 4 メディアホルダーロックスイッチをロック(下側に下げる)し、ラベルロールがしっかりと固定されるようにしてください。



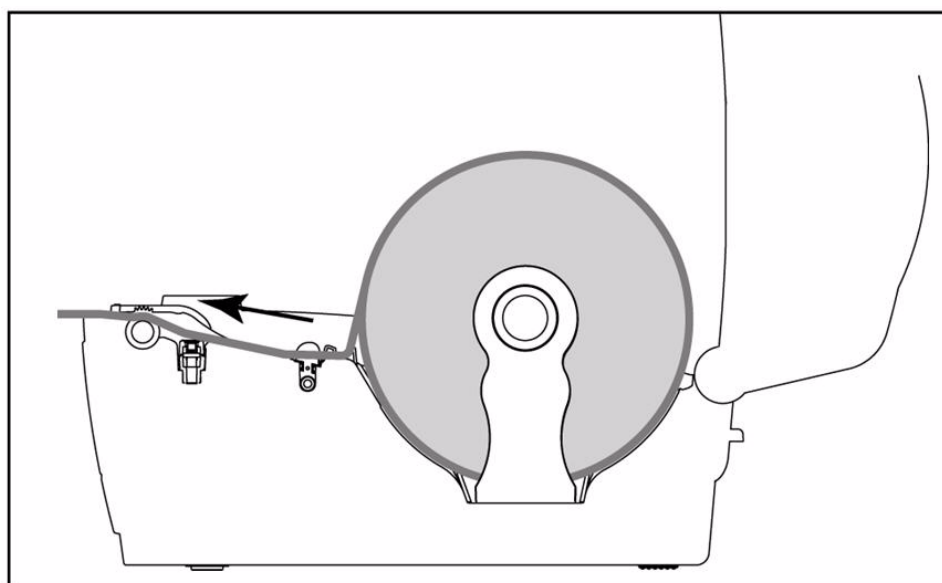
- 5 **オプション**: 外部メディアホルダーか折りたたみ式連続ラベルを使用する場合は、メディアをプリンタ背面の外部ラベル挿入口を通してフィードされるようにしてください。
- 6 ペーパーを印刷面を上にし、メディアセンサを通過するようにしてペーパー位置を合わせてください。
- 7 ラベルの先端をプラテンローラーの上に合わせてください。
- 8 ガイドアジャスターノブを回転させてメディアガイドを動かしてラベルの幅に合わせてください。
- 9 トップカバーサポートを噛み合わせを外し、静かにトップカバーを閉じてください。



- 10 診断ツールを使用してメディアセンサタイプを設定し、次のようにして選択したセンサを調整してください(詳細については、診断ツールのクイックスタートガイドを参照)。
 - a. 診断ツールを起動
 - b. プリンタ構成タブを選択
 - c. センサ調整ボタンをクリック

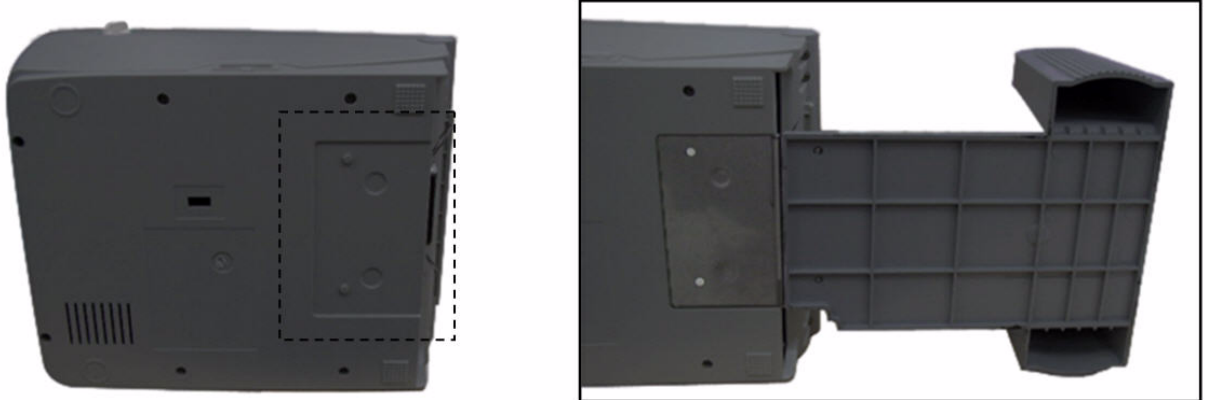
注意: メディアを変更する場合はギャップ/ブラックマークセンサを調整してください。

ロールラベルの装填経路



外部ラベルロールマウントのインストール(オプション)

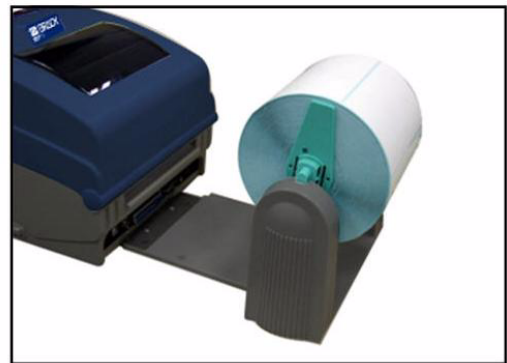
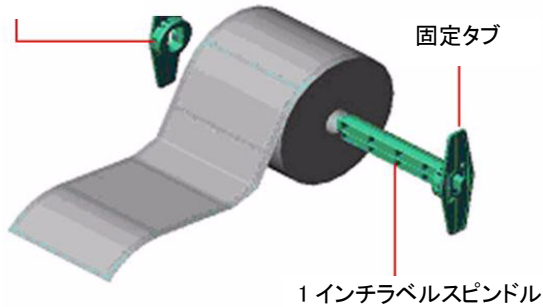
- 1 外部ラベルロールマウントをプリンタの底部に装着してください。



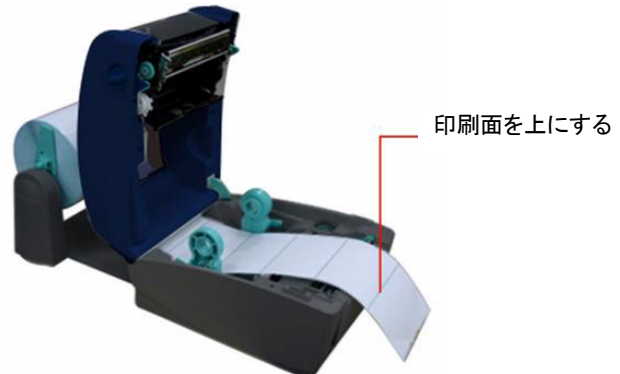
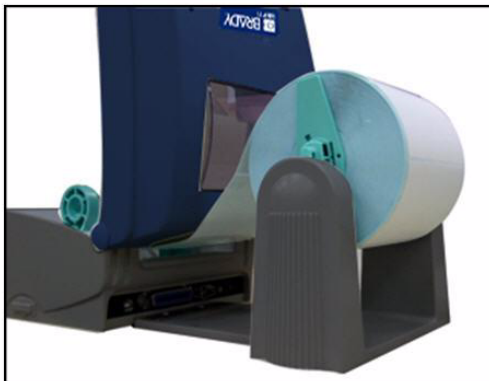
- 2 1 インチラベルスピンドルをペーパーローラーに差込み、外部ラベルロールマウントに取り付けてください。

注意: ペーパーコアが1インチの場合は、固定タブから1.5インチコアアダプターを外してください。ラベルの幅が4インチの場合は、2つの固定タブは不要です。

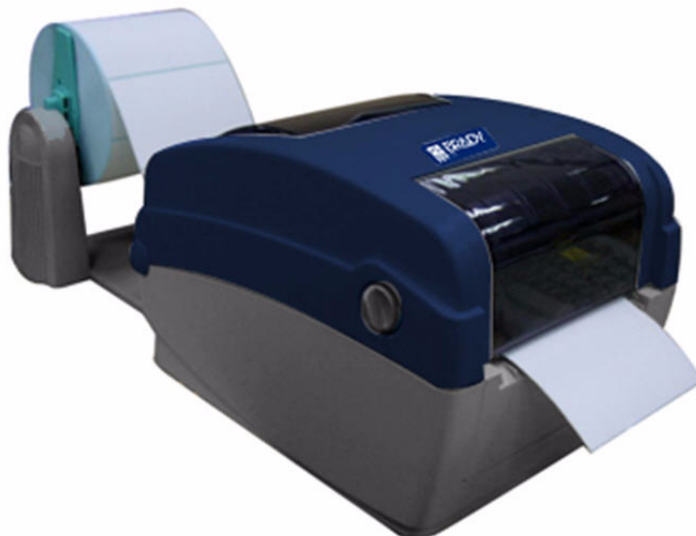
1.5インチコアアダプター



- 3 トップカバーを開け、2つのメディアホルダーを引き離してメディアの幅に合わせてください。
- 4 メディアホルダーロックスイッチを下に倒し、メディアホルダーを固定してください。
- 5 メディアをプリンタ背面の外部ラベル挿入口に通してください。
 - a. ペーパーの印刷面を上にし、メディアセンサを通過するようにペーパー位置を合わせてください。
 - b. ラベルの先端をプラテンローラーの上に合わせてください。



- 6 ガイドジャスターノブを回転させてメディアガイドを動かシラベルの幅に合わせてください。
- 7 トップカバーサポートの噛み合わせを外し、静かにトップカバーを閉じてください。



- 8 診断ツールを使用してメディアセンサタイプを設定し、選択したセンサを以下の順序にて調整してください(詳細については、診断ツールスタートガイドを参照)。
 - a. 診断ツールを起動
 - b. プリンタ構成タブを選択
 - c. センサ調整ボタンをクリック

診断ツール

診断ツールは、ユーザがプリンタを設定したり状況を診断するためのツールボックスで、プリンタ設定変更、グラフィックスやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタビットマップフォントの作成、追加コマンドのプリンタへの送信ができます。この便利なツールを使用することで、プリンタの状況や設定を診断し、トラブルの修復が行えます。

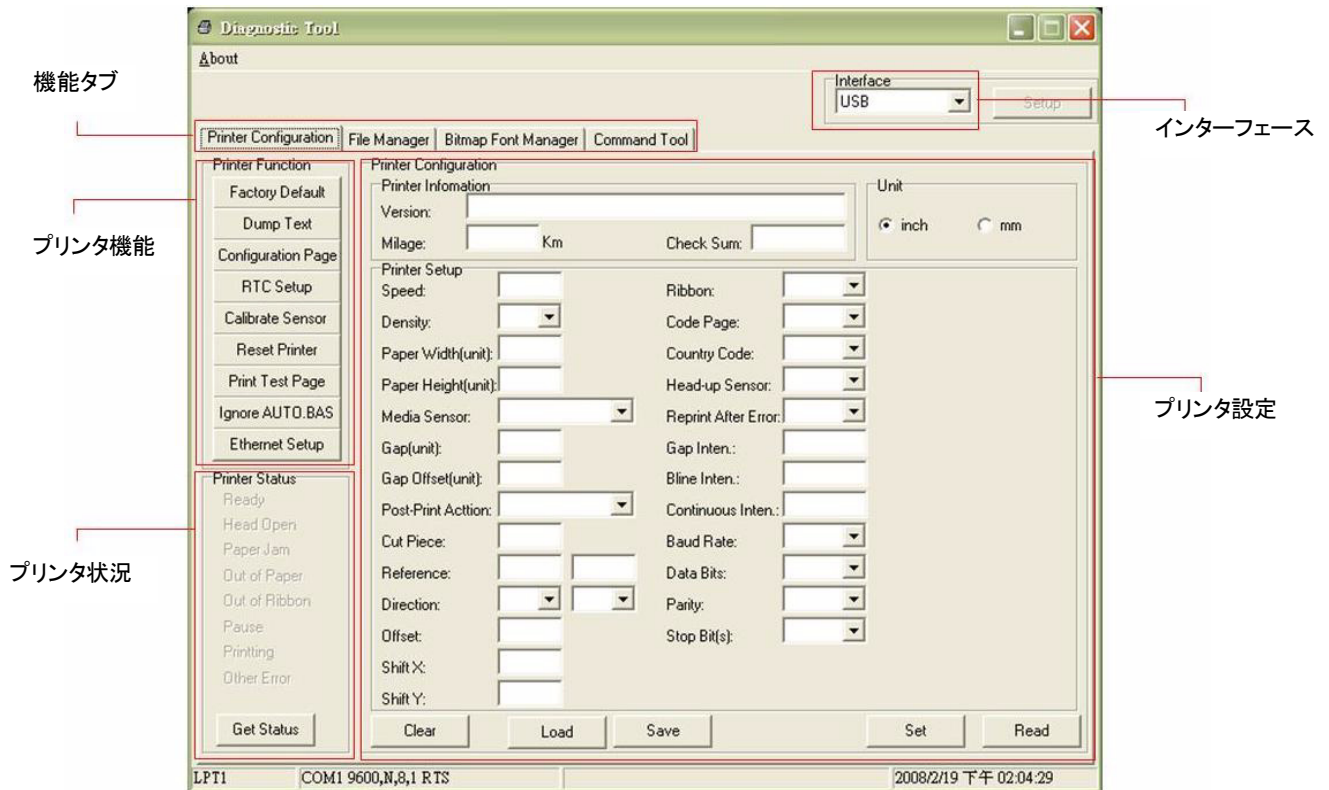
注意： 本ユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 および後継バージョンで動作します。

診断ツールの起動

- 1 ソフトウェアを起動するには、**診断ツールアイコン**  **DiagTool.exe** をダブルクリックしてください。

注意： 本診断ツールは、D:\DiagTool にあります。

- 2 診断ツールには、4 つの機能(プリンタ構成、ファイルマネージャ、ビットマップフォント・マネージャ、コマンドツール)があります。



プリンタ機能(センサ調整、イーサネット設定、RTC 設定・・・など)

- 1 バーコードプリンタに接続されている PC インターフェースを選択してください。
- 2 設定を行うために **Function (機能)** をクリックしてください。
- 3 プリンタ機能グループの詳細機能を下記の表に示します。

	機能	詳細
Printer Function	Factory Default	プリンタを初期化し、デフォルト設定に戻す。
Factory Default	Dump Text	プリンタダンプモードを有効にする。
Dump Text	Configuration Page	プリンタ構成を印刷する。
Configuration Page	RTC Setup	プリンタのリアルタイムクロックを PC と同期させる。
RTC Setup	Calibrate Sensor	プリンタ設定グループメディアセンサフィールドに記載されたセンサ仕様を調整する。
Calibrate Sensor	Reset Printer	プリンタを再起動する。
Reset Printer	Print Test Page	テストページを印刷する。
Print Test Page	Ignore AUTO.BAS	ダウンロードされた AUTO.BAS プログラムを無視する。
Ignore AUTO.BAS	Ethernet Setup	オンボードイーサネット上の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する。
Ethernet Setup		

注意: 診断ツールについての詳細情報は CD ディスクの\ユーティリティディレクトリにある診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

SD メモリカードのインストール

1 SD メモリカードカバーを開けてください。



2 SC カードが完全に固定される位置まで挿入してください。



3 メモリーカードカバーを閉じてください。



* 推奨 SD カード仕様	
SD V 1.0, V 1.1	SD V 2.0
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 128MB ✓ 256MB ✓ 512MB ✓ 1GB 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4GB class 6
<ul style="list-style-type: none"> - DOS FAT ファイルシステムがサポートされていること。 - SD カードに保存されているフォルダは 8.3 形式のファイル名であること。 - 認証済み SD カードメーカー: SanDisk、Transcend 	

LED 表示とボタン機能

本プリンタにはボタンが1つ、3色表示のLEDランプが1つついています。ボタン操作でLEDの色が変わることにより、プリンタの設定として、ラベルフィード、印刷ジョブの一時停止、メディアセンサの選択と調整、セルフテストレポートの印刷、デフォルトへのリセット(初期化)が行えます。それぞれの機能に対するボタン操作について、下記を参照してください。

LED 表示

LEDの色	詳細
緑/点灯	電源がオンのとき点灯し、プリンタが使用可能な状態であるとき点灯。
緑/点滅	システムがデータをPCからメモリにダウンロードしているとき、またはプリンタが一時停止しているとき点滅。
アンバー	システムがプリンタからのデータを消去しているとき点灯。
赤/点灯	プリンタヘッドが開いた状態、またはカッターエラーのとき点灯。
赤/点滅	ヘッドが開いている、ペーパーがない、ペーパーが詰まっている、リボンがない、メモリーエラーなどの印刷エラーの時に点灯。

通常のボタン機能

- 1 ラベルのフィード
プリンタが使用可能な時、ボタンを押すとラベル1枚分フィードし、次のラベルの頭出しを行います。
- 2 印刷ジョブ一時停止
プリンタが印刷中にボタンを押すと印刷ジョブが一時停止します。プリンタが停止するとLED表示が緑に点滅します。ボタンをもう一度押すと、印刷ジョブが継続します。

パワーオンユーティリティ

プリンタのハードウェアを設定してテストを行うために6つのパワーオンユーティリティがあります。これらのユーティリティは、フィードボタンを押し、プリンタの電源を入れ、LEDの色が変わったときボタンを放すことで有効となります。

各種のパワーオンユーティリティについて下記の手順に従ってください。

- 1 電源スイッチをオフにする。
- 2 フィードボタンを押したまま電源スイッチをオンにする。
- 3 それぞれの異なる機能に関連するLEDの色が表示されたらボタンを放す。

パワーオンユーティリティ	対応するLEDの色の変化							
	LEDの色	アンバー	赤 (5回点滅)	アンバー (5回点滅)	緑 (5回点滅)	緑/アンバー (5回点滅)	赤/アンバー (5回点滅)	緑 点灯
機能								
1 リボンセンサ調整およびギャップ/ブラックマークセンサ調整			ボタン開放					
2 ギャップ/ブラックマークセンサ調整、セルフテスト、およびダンプモードに切り替え				ボタン開放				
3 プリンタの初期化					ボタン開放			
4 ブラックマークセンサをメディアセンサとして設定しブラックマークセンサを調整						ボタン開放		
5 ギャップセンサをメディアセンサとして設定しギャップセンサを調整							ボタン開放	
6 AUTO.BASをスキップ								ボタン開放

リボンおよびギャップ/ブラックマークセンサの調整

下記の条件の場合、ギャップ/ブラックマークセンサの感度を調整してください。

- 新しいプリンタ
- ラベルのストックを変更
- プリンタを初期化

リボンおよびギャップ/ブラックマークセンサを調整する場合は、下記のステップに従ってください。

- 1 電源スイッチをオフにしてください。
- 2 フィードボタンを押さえたまに電源スイッチをオンにしてください。
- 3 LEDが赤で点滅を始めたならボタンを放してください。(5回の点滅以内ならいつでも)
 - リボンセンサおよびギャップ/ブラックマークセンサの感度の調整が始まります。
 - LEDの色が次の順序で変化します。
 - アンバー → 赤(5回点滅) → アンバー(5回点滅) → 緑(5回点滅) → 緑/アンバー(5回点滅) → 赤/アンバー(5回点滅) → 緑(点灯)

注意: センサを調整する前に GAP または BLINE コマンドをプリンタに送り、ギャップまたはブラックマークセンサを選択してください。

ギャップ/ブラックマークセンサ調整、セルフテスト、ダンプモード

ギャップ/ブラックマークセンサを調整している間、プリンタはラベルの長さを測定し、内部の構成状況(セルフテスト)をラベルに印刷し、それからダンプモードに移ります。ギャップまたはブラックマークセンサの調整は、最後の印刷ジョブのセンサの設定に従います。

センサを調整する場合は、下記の手順に従ってください。

- 1 電源スイッチをオフにしてください。
- 2 フィードボタンを押さえたままにして電源スイッチをオンにしてください。
- 3 LED がアンバーで点滅を始めたらボタンを放してください。(5 回の点滅以内ならいつでも)
 - LED の色が次の順序で変化します。
 - アンバー → 赤 (5 回点滅) → アンバー (5 回点滅) → 緑 (5 回点滅) → 緑/アンバー (5 回点滅) → 赤/アンバー (5 回点滅) → 緑 (点灯)
- 4 プリンタはセンサの調整を開始し、ラベルの長さを測定し、内部の構成状況を印刷し、それからダンプモードに移ります。

注意: センサを調整する前に GAP または BLINE コマンドをプリンタに送り、ギャップまたはブラックマークセンサを選択してください。

セルフテスト

ギャップ/ブラックマークセンサの調整が終わると、プリンタはプリンタの構成状況を印刷します。セルフテストの印刷結果は、ヒーターエレメントにドットの損傷があるかどうかをチェックしたり、プリンタの構成状況、また有効なメモリスペース

PRINTER INFO.

```
BBP-11-24 Version: 6.58 EZ
MILAGE(m): 50
CHECKSUM: 05C90947 TCF
SERIAL PORT: 9600,N,8,1
CODE PAGE: 850
COUNTRY CODE: 001
SPEED: 2 INCH
DENSITY: 10.0
SIZE: 1.50 , 6.50
GAP: 0.13 , 0.00
TRANSPARENCE: 11
MAC ADDRESS: 00-1B-82-FF-01-97
DHCP ENABLED: YES
IP ADDRESS: 0.0.0.0
SUBNET MASK: 0.0.0.0
DEFAULT GATEWAY: 0.0.0.0
*****
FILE LIST:
DRAM FILE:          0 FILE(S)
FLASH FILE:         0 FILE(S)
PHYSICAL DRAM:      8192 KBYTES
AVAILABLE DRAM:     256 KBYTES FREE
PHYSICAL FLASH:    2048 KBYTES
AVAILABLE FLASH:    1088 KBYTES FREE
END OF FILE LIST
*****
NOW IN DUMP MODE
```

をチェックすることができます。

プリントヘッドのテストパターン

プリンタモデル名及びメインボードのファームウェアバージョン

印刷した距離

メインボードのファームウェアバージョンのチェックサム

シリアルポートの設定

コードページ

カントリーコード

印刷速度

印刷の濃淡

ラベルサイズ(幅、高さ)

ギャップサイズ(縦のギャップ、オフセット)

センサ感度

ファイルの管理情報

ダンプモード

プリンタ構成を印刷するとプリンタはダンプモードになります。ダンプモードでは、下図のようにすべてのキャラクタが 2 段で印刷されます。ASCII キャラクタは、お持ちのシステムから受信したもので、右側のデータはこのキャラクタの対応数値を 16 進法で表示したものです。ユーザあるいはエンジニアはこれをプログラムの検証やデバッグに使用することができます。

ASCII データ	SPEED 2.0	53	50	45	45	44	20	32	2E	30	0D
	DENSITY 8	0A	44	45	4E	53	49	54	59	20	38
	SET PEEL	0D	0A	53	45	54	20	50	45	45	4C
	OFF DIRE	20	4F	46	46	0D	0A	44	49	52	45
	CTION 0 0	43	54	49	4F	4E	20	30	0D	0A	47
	AP 3.00 mm	41	50	20	33	2E	30	30	20	6D	6D
	.0.00 mm	2C	30	2E	30	30	20	6D	6D	0D	0A
	REFERENCE	52	45	46	45	52	45	4E	43	45	20
	0.0 SET C	30	2C	30	0D	0A	53	45	54	20	43
	CUTTER OFF	55	54	54	45	52	20	4F	46	46	0A
	SIZE 100.	0A	53	49	5A	45	20	31	30	30	2E
	02 mm,65.0	30	32	20	6D	6D	2C	36	35	2E	30
	4 mm CLS	34	20	6D	6D	0D	0A	43	4C	53	0D
	BARCODE 1	0A	42	41	52	43	4F	44	45	20	31
	44.149."39	34	34	2C	31	34	39	2C	22	33	39
	.120.1.0.	22	2C	31	32	30	2C	31	2C	30	2C
	2.6."57114	32	2C	36	2C	22	35	37	31	31	34
	38T" PRIN	33	38	54	22	0D	0A	50	52	49	4E
	T 1.1 SPE	54	20	31	2C	31	0D	0A	53	50	46
	ED 2.0 DE	45	44	20	32	2E	30	0D	0A	44	45
	NSITY 8 3	4E	53	49	54	59	20	36	0D	0A	53
	ET PEEL OF	45	54	20	50	45	45	4C	20	4F	46
	F DIRECTI	46	0D	0A	44	49	52	45	43	54	49
	ON 0 GAP	4F	4E	20	30	0D	0A	47	41	50	20
	3.00 mm.0.	33	2E	30	30	20	6D	6D	2C	30	2E
	00 mm REF	30	30	20	6D	6D	0D	0A	52	45	46
	ERENCE 0.0	45	52	45	4E	43	45	20	30	2C	30
	SET CUTT	0D	0A	53	45	54	20	43	55	54	54
	ER OFF SI	45	52	20	4F	46	46	0D	0A	53	49
	ZE 100.02	5A	45	20	31	30	30	2E	30	32	20
	mm,65.04 m	6D	6D	2C	36	35	2E	30	34	20	6D
	m. CLS BA	6D	0D	0A	43	4C	53	0D	0A	42	41
	RCODE 144.	52	43	4F	44	45	20	31	34	34	2C
	149."39".1	31	34	39	2C	22	33	39	22	2C	31
	20.1.0.2.0	32	30	2C	31	2C	30	2C	32	2C	30
	.5711438T	2C	22	35	37	31	31	34	33	38	54
	" PRINT 1	22	0D	0A	50	52	49	4E	54	20	31
	.1	2C	31	0D	0A						

左側の ASCII データを 16 進法で表示したデータ

注意:

- ダンプモードでは 4 インチ幅のペーパーが必要です。
- プリンタを通常の印刷状態に戻すには電源をいったんオフにし再びオンにしてください。
- 前のメニューに戻る場合はフィードボタンを押してください。

プリンタの初期化

プリンタの初期化は DRAM を消去しプリンタの設定をデフォルトに復元するときに行います。唯一の例外はリボンの感度で、これはデフォルトには復元されません。

プリンタの初期化を有効にするには下記に従ってください。

- 1 電源スイッチをオフにしてください。
- 2 フィードボタンを押したままにして電源スイッチをオンにしてください。
- 3 LED がアンバーで 5 回点滅したあと緑に変わったら(5 回の点滅以内ならいつでも)ボタンを放してください。

LED の色の変化は次の通りです。

- アンバー → 赤(5 回点滅) → アンバー(5 回点滅) → 緑(5 回点滅) → 緑/アンバー(5 回点滅) → 赤/アンバー(5 回点滅) → 緑(点灯)

初期化の後、プリンタの構成は下表に記載のデフォルト状態に復元されます。

パラメータ	デフォルト設定
速度	127 mm/sec (5 ips) (203DPI) 76 mm/sec (3 ips) (300 DPI)
密度	8
ラベル幅	4 インチ(101.5 mm)
ラベル高さ	4 インチ(101.5 mm)
センサタイプ	ギャップセンサ
ギャップ設定	0.12 インチ (3.0 mm)
印刷方向	0
レファレンスポイント	0,0 (左上の角)
オフセット	0
テアモード	オン
ピールオフモード	オフ
カッターモード	オフ
シリアルポート設定	9600 bps、非パリティ、8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
カントリーコード	001
クリアフラッシュメモリ	なし
IP アドレス	DHCP

ブラックマークセンサをメディアセンサに設定してブラックマークセンサを調整

ブラックマークセンサを調整する場合は、下記の手順に従ってください。

- 1 電源スイッチをオフにしてください。
- 2 フィードボタンを押さえたままにして電源スイッチをオンにしてください。
- 3 LED が緑で5回点滅したあと緑/アンバーに変わったら(5回以内の緑/アンバーの点滅ならいつでも)ボタンを放してください。

LEDの色が次の順序で変化します。

- アンバー → 赤(5回点滅) → アンバー(5回点滅) → 緑(5回点滅) → 緑/アンバー(5回点滅) → 赤/アンバー(5回点滅) → 緑(点灯)

ギャップセンサをメディアセンサに設定してギャップセンサを調整

ギャップセンサを調整する場合は、下記のステップに従ってください。

- 1 電源スイッチをオフにしてください。
- 2 フィードボタンを押さえたままにして電源スイッチをオンにしてください。
- 3 LED が緑/アンバーで5回点滅したあと赤/アンバーに変わったら(5回の点滅以内ならいつでも)ボタンを放してください。

LEDの色が次の順序で変化します。

- アンバー → 赤(5回点滅) → アンバー(5回点滅) → 緑(5回点滅) → 緑/アンバー(5回点滅) → 赤/アンバー(5回点滅) → 緑(点灯)

AUTO.BAS のスキップ

TSPL2 プログラム言語によって、ユーザは自動実行ファイルをフラッシュメモリにダウンロードさせることができます。プリンタの電源がオンの場合、プリンタはただちに AUTO.BAS プログラムを実行します。AUTO.BAS プログラムはパワーオンユーティリティを使用してプログラムを実行させずに割り込みをかけることができます。

AUTO.BAS プログラムをスキップする場合は、下記の手順に従ってください。

- 1 電源スイッチをオフにしてください。
- 2 フィードボタンを押し、次に電源スイッチをオンにしてください。
- 3 LED が緑に点灯したらフィードボタンを放してください。

LED の色が次の順序で変化します。

- アンバー → 赤(5回点滅) → アンバー(5回点滅) → 緑(5回点滅) → 緑/アンバー(5回点滅) → 赤/アンバー(5回点滅) → 緑(点灯)
- 4 プリンタに割り込みがかかり AUTO.BAS プログラムが実行されます。

第4章 トラブルシューティング

トラブルシューティングガイドでは、本バーコードプリンタを操作する場合に遭遇するもっとも一般的な問題をリストアップしています。問題解決のためのすべての手順内容を実行したあともプリンタが機能しない場合は、買い上げいただきました代理店のカスタマーサービス部にご連絡いただきサポートを受けてください。

LED の状況表示

このセクションでは、本プリンタを操作する場合に遭遇する LED の点灯によって表示されるもっとも一般的な問題の状況について説明します。

LED の状況/色	プリンタ状況	想定される原因	回復手順
オフ	応答なし	電源が入っていない	<ul style="list-style-type: none">電源スイッチをオンにしてください。電源ボックスの LED が緑に点灯しているかチェックしてください。していない場合は電源ボックスが壊れています。電源コードから電源ボックスまで、また電源ボックスからプリンタの電源差込口までの両方がしっかりと接続されているかチェックしてください。
緑に点灯	オン	プリンタは使用可能	<ul style="list-style-type: none">アクションは不要です。
緑の点滅	一時停止	プリンタが一時停止	<ul style="list-style-type: none">フィードボタンを押し印刷を復帰させてください。
赤の点滅	エラー	ラベルまたはリボンがなくなっている プリンタの設定が正しくない。	<ol style="list-style-type: none">ラベルまたはリボンがなくなっている。<ul style="list-style-type: none">メディア装填の指示に従ってラベルロールを装填し、フィードボタンを押し印刷を復帰させてください。リボン装填の指示に従ってリボンを装填し、フィードボタンを押し印刷を復帰させてください。プリンタの設定が正しくない。<ul style="list-style-type: none">「パワーオンユーティリティ」または「診断ツール」の指示に従ってプリンタを初期化してください。

注意: プリンタ状況は診断ツールで見ることができます。診断ツールについての詳細はソフトウェア CD ディスク内の D:\DiagTool を参照してください。

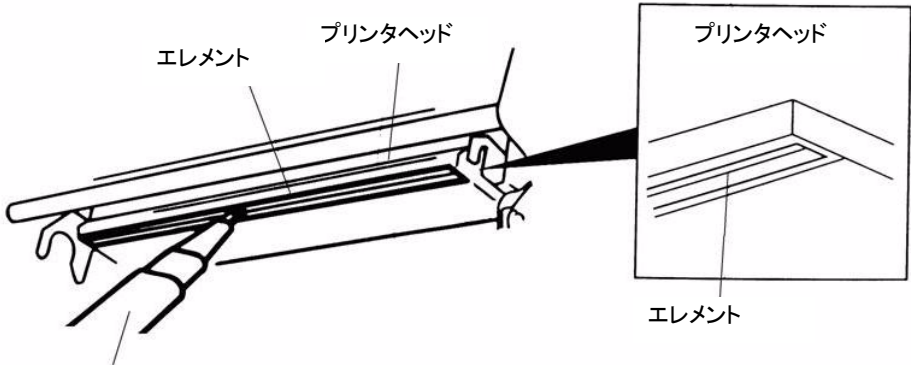
印刷の品質

問題	想定される原因	回復手順
印刷ができない	インターフェースケーブルがインターフェースコネクタに正しく接続されているかチェックしてください。	ケーブルをインターフェースに再接続してください。
	シリアルポートケーブルピンの構成でピン同士の対応が正しく接続されていない。	ピン同士の接続が対応しているケーブルと交換してください。
	シリアルポートの設定がホストとプリンタで一致していない。	シリアルポートの設定をリセットしてください。
	ウィンドウズのドライバで指定されたポートが正しくない。	ドライバで正しいプリンタポートを選択してください。
	イーサネット IP、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく構成されていない。	IP、サブネットマスク、ゲートウェイを構成してください。
ラベルに印刷されない	ラベルまたはリボンが正しく装填されていない。	メディアまたはリボンの装填の指示に従ってください。
	リボンがなくなっている。	新しいリボンを装填してください。
ラベルが続けてフィードされてしまう	プリンタの設定が間違っている可能性がある。	初期化を実施しギャップ/ブラックマークセンサの調整を行ってください。
ペーパー詰まり	ギャップ/ブラックマークセンサ感度が正しく設定されていない(センサ感度が十分でない)。	ギャップ/ブラックマークセンサを調整してください。
	ラベルサイズが正しく設定されていない。	ラベルソフトウェアまたはプログラムでインストールが指定されているペーパーとまったく同じサイズのラベルを設定してください。
	ラベルがセンサ部分の近くのプリンタ機構の中で詰まっている。	詰まったラベルを取り除いてください。
印刷の品質が悪い	トップカバーが正しく閉じられていない。	トップカバーを完全に閉じ、左右のサイドレバーのラッチが正しくかかっているか確認してください。
	サプライが正しく装填されていない。	サプライを再装填してください。
	リボンとメディアの組合せが間違っている。	リボンまたはラベルの組合せを変更してください。
	ゴミおよび/または接着剤がプリントヘッドに溜まっている。	ゴミまたは接着剤がプリントヘッドに溜まっているかチェックしてください。プリントヘッドを清掃してください。
	印刷密度が正しく設定されていない。	印刷密度と印刷速度を調整してください。
	プリントヘッドテストパターンが正しくない。	ヘッドエレメントが損傷している可能性があります。プリンタセルフテストを実施しプリントヘッドテストパターンを見てパターン内で失われているドットがないかチェックしてください。

第5章 メンテナンス

本セッションではクリーニングツールとプリンタのメンテナンス方法について説明します。

- 1 プリンタを清掃するために下記のうちの 1 つを選んで使用してください。
 - 綿棒 (ヘッドクリーナーペン)
 - リントフリークロス
 - 真空 / 圧搾空気ブローブラシ
 - 100%エタノール
- 2 下記の手順でプリンタを清掃してください。

プリンタの部品	方法	頻度
プリントヘッド	<ol style="list-style-type: none"> 1 プリントヘッドを清掃する前にプリンタの電源をオフにしてください。 2 最低1分ほど放置してプリントヘッドを冷却してください。 3 綿棒と100%アセトンを使用してプリントヘッド表面を清掃してください。 	ラベルロールを新しいものに変更する場合はプリントヘッドを清掃してください。
	 <p>ヘッドクリーナーペン</p>	
プラテンローラー	<ol style="list-style-type: none"> 1 プリンタの電源をオフにしてください。 2 プラテンを回転し100%エタノールまたはアセトンを使用し綿棒またはリントフリークロスで丁寧に拭いてください。 	ラベルロールを新しいものに変更する場合はプラテンローラーを清掃してください。
センサ	圧搾空気または真空	毎月
外装	水で湿らせた布で拭いてください。	適宜
内装	ブラッシまたは真空で	適宜

注意:

- プリンタヘッドには手を触れないでください。万一触れた場合はエタノールを使用して清掃してください。
- 100%のアセトンまたはエタノールを使用してください。医療用のアルコールはプリンタヘッドを損傷させてしまうため絶対に使用しないでください。
- プリンタの性能を維持し長くご使用いただくために、新しいリボンに交換する場合は必ずプリントヘッドとサプライセンサを清掃してください。
- 印刷を続けているとプリンタモータを加熱させる原因となります。プリンタは冷却のため約10~15分ごとに自動的に印刷を停止します。プリンタが一時停止している場合、プリンタの電源をオフにするとプリンタバッファへ転送されたデータが消滅します。



©2008 Brady Worldwide, Inc.

無断複写・複製・転載を禁ず

BRADY WORLDWIDE, INC.

6835 Winnetka Circle, Brooklyn Park, MN 55428